

事業所における自己評価結果(公表)

令和 3 年 4 月 13 日

事業所名 音楽療育おとゆいキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	換気を良くして、活動部屋を2つに分ける工夫をしています。	プログラム内容を工夫したり、部屋を分散する等過密にならないように工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	ほぼマンツーマンで対応できています。	基本人員よりも多い目に職員を配置しています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	70%	30%	声掛け、目印など段差のところは注意を促している。	子どもの特性に応じて構造化していますが継続して工夫をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	活動前後の消毒、年齢に合わせた空間づくりをして心地よく過ごせるように配慮しています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		ニーズに添った支援計画をチームで継続実施していきます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		事業所の評価を実施し、いただいた意見を元に業務改善に繋がります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	会報およびホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10%	90%		第三者による外部評価は行ってませんが、昨年度は、自閉症支援センターWAVEに構造化や子どもの支援の助言を受け、外部機関との連携を図るようにしています、
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		研修の機会を積極的に確保していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	90%	10%	児童発達管理責任者と支援職員、音楽職員と連携して作成しています。	ニーズや目標に添った計画を深めていきたいです。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	70%	30%	未就園児等には、適応行動尺度を使用して保護者に記入依頼して発達の様子をアセスメントしています。	外部機関で受けた発達検査結果(新版式、Wisk,PEP-R等)を踏まえて支援しています
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインに添って児童発達支援計画を作成し、個別支援計画の説明をしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		今後も子どものニーズに添った支援に繋がっていきます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	関係職員と行っています。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	心身の成長に合わせて固定化しないように工夫しています。	今後も創意工夫していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		個別と集団活動を組み合わせて児童発達支援を行うように改善を重ねていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	90%	10%	共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	90%	10%	日々の活動記録を取り、支援の検証・改善につなげています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	90%	10%	児童発達管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	80%	10%	相談支援事業所からの話があれば参画しています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%	医療的ケア児は支援を行っていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%	同上	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	20%	幼稚園、保育園とは個別に訪問し、児童発達支援事業所、児童発達支援センター、保護者、リハビリ関係者、相談事業所と連携しケース会議を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	20%	図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	70%	30%	個別支援計画の情報共有をしてらう。研修があれば参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	30%	70%		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流はないが、障害のない子どもと活動する機会をつくっていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	50%	会議の案内があれば積極的に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		丁寧にお話しを伺いながら共通理解を深めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%		ペアレント・トレーニングは行ったことがないので、今年度は行っていく予定です。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	90%	0%	見学時や契約のときに説明しています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	児童発達支援計画の説明を行い、同意を得ています	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談の申し入れがあった場合は、児童発達管理責任者が対応しています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	90%		父母の会も今年は開催する予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談の申し入れがあった場合は、児童発達管理責任者が対応しています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月1回の通信紙のほか、ホームページ、SNSで活動の様子を発信しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	90%	10%	個人情報の取扱いは十分配慮しているが、SNS発信時と特に気を付けています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	コミュニケーションのためのスケジュールを作成、板書のためのホワイトボード、ipad、説明書の文字フォントを大きくしています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	44%	56%	所属自治会に年間報告をしている。地域のイベントに参画している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しており、ホームページからも発信しています。訓練は職員間で年1回は行っています	マニュアルがあることを保護者に周知していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	自衛消防訓練を年2回行っています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	担当者会議で確認しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	89%	11%	保護者からの聞き取りにより対応しています	医師の指示書が必要な場合は対応していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	会議等でヒヤリハット報告をして対策まで話し合っています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年1回、研修を受けた職員から伝達研修という形で行っています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	70%	30%		そのような子どもが利用した場合は、了解を得て記載していきます

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和 3 年 4 月 13 日

事業所名 \_\_\_\_\_

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	換気を良くして、活動部屋を2つに分ける工夫をしています。	プログラム内容を工夫したり、部屋を分散する等過密にならないように工夫しています。
職員の配置数は適切である	100%	0%	基本人員より多い目に配置しています	支援する上で、余裕をもったスタッフ配置をしています。
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%	音楽室、プレイルームに分けており、プレイルームの中でも静と動の活動に分けています	バリアフリー化の配慮について不都合が生じないように常に配慮していきます
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	週ごとに月1回のペースで職員会議やケース会議をもって、職員が参画しています	継続して行っています
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者にアンケートを実施しました	頂いたご意見をものに業務改善につなげていきます
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	公開しています	各ご家庭にも配布します
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価は行ってませんが、昨年度は、自閉症支援センターWAVEに構造化や子どもの支援の助言を受け、外部機関との連携を図るようにしています
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	90%	10%	持つようにしている。	職員が均等に研修を受けるように確保していきます
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	外部機関で受けた発達検査結果(新版式、Wisk,PEP-R等)を踏まえて支援しています	今後もスタッフ間で情報共有を行い、保護者の同意を得て個別支援計画を作成しています
子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	90%	10%	未就園児等には、適応行動尺度を使用して保護者に記入依頼して発達の様子をアセスメントしています。	外部機関で受けた発達検査結果(新版式、Wisk,PEP-R等)を踏まえて支援しています
活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	関係スタッフと行っています	
活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	子どもの特性に応じて工夫しています	
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	90%	10%	障がい特性、曜日、学校休業日など別に工夫しています	
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別と集団活動を組み合わせ児童発達支援を行っています	
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	常勤とは行っています。	
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の活動記録を取り、支援の検証・改善につなげています	ひきつづき記録の徹底を行っていきたい。

定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	行っています	
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	行っています	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	90%	10%	児童発達管理責任者が参画しています	
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	管理者、常勤スタッフでおこなっています	全職員で役割分担して、間違いがないように行っていきたい。
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	#DIV/0!	#DIV/0!	受入れは行っていません	
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	都度、直接保育所や幼稚園に出向いて引継ぎを行っています	
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	#DIV/0!	#DIV/0!	移行する子どもは今までありませんでした。	今後、移行する児童があった場合は、引継ぎを行っていきます
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	連携はしている。	研修の機会があれば積極的に参加しています
放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10%	90%	児童クラブとの交流はありません	障がいのない子どもとの交流の機会は作っていきます
(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	80%	参加していません	機会があれば参加したい。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10%	90%	共通理解を持てるように、常に連絡を取るようにしています	
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	ペアレント・トレーニングは行ったことがありません	今年度は行っていきたい。
運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	見学时、契約時に丁寧に説明しています	
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談の申し入れがあった場合は、児童発達管理責任者が対応しています	
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	80%		今年度からは年間スケジュールに組み込んで開催していきたい。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者が対応しています	
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月1回の通信紙のほか、ホームページ、SNSで活動の様子を発信しています	
個人情報に十分注意している	90%	10%	個人情報の取り扱いには十分配慮しているが、SNS発信時と特に気を付けています	

障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	コミュニケーションのためのスケジュールを作成、板書のためのホワイトボード、ipad、説明書の文字フォントを大きくしています	
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	44%	56%	所属自治会に年間報告をしている。	コロナ禍が落ちついたら、以前のように地域のイベントに参画していきたい。
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しています	ホームページにUPしている旨を会報等でお知らせしていきたい。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	自衛消防訓練時に話し合っています	実際に訓練も行っていきたい。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年1回、研修を受けた職員から伝達研修という形で行っています	今後も、伝達研修という形で行う予定。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	70%	30%		組織として決定していきたい。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	89%	11%	保護者からの聞き取りにより対応している。	医師の指示書があれば貰うようにしたい。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	会議等でヒヤリハット報告をして対策まで話し合っています	